

R18

FOR
ADULT
ONLY

エリ
の
花
の
夢

THE LEGEND OF HEROES SEN NO KISEKI IV
◆ C·A·T/KurumiMorisaki ◆



エリンの花の夢



この本を手にとって下さって有り難うございます。
森崎です。

今回は閃の最終章、閃の奇跡IV本と相成りました。
閃のラストって事で、楽しみにしつつも終わっちゃうのが
寂しくて…という部分もあったのは否定できないですが、
閃4部作ではクリアするまでに一番時間がかかりました。
(単に一日のプレイ時間が短かっただけですが)
その分、コレを描く時間が減って大変でした…。

そんな今回の本はちょっとシリアス(?)というか、
三角関係(?)というか…。
ともかく、相変わらずな私風味のリアル本ですが、
楽しんで貰えたら幸いです。

By森崎くるみ



—アリサ



リンその…
ごめんなさい
今はちよっと手が
離せなくて…
後でもいいかしら？



—あ…
リン
どうしたの？

その…
少し
いいか？



…解った
引き留めて
悪かった

いいえ
じゃあまた



あれは
アリサ側の
問題に見えるな

そうですね…
何かあったの
でしょうか

ふむ…



—ね
最近のあの
二人
ちよつと変



そうですね……



……きつと
アリサさんの
事情が
原因ですよ

そうだな……
とはいえアリサの
事情は現状の我らで
何か出来る事でも
ないからな……



それにしても
いいのかしら…
クロチルダさんの
ベッドを使わせて
もらって

なんとなく恐ろしい感じがする

そんな事
気にしないで
下さい



本当にこの
温泉は気持ち
いいわよね
疲れも癒されたわ

ふふ
この里の温泉は
自慢の湯ですから

それに人数も増えて
里全体で賄っても
ベッドが足り
ませんしね

姉さんのベッドも
使わないなんて
勿体ないですから

確かに新旧VII組
だけでも
大所帯だものね

ふふ



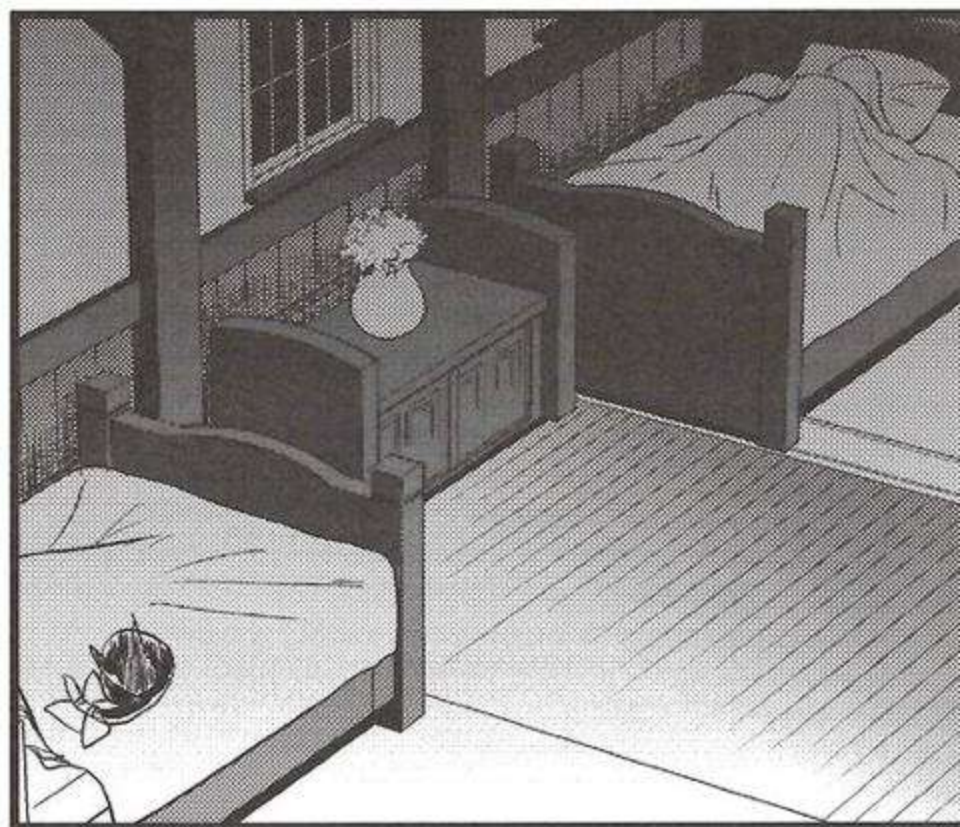
それじゃあ
明日も早いし
寝るわね
お休みエマ

はい
お休みなさい
アリサさん



あの子も
相当溜め込ん
でるといっか…
ま…今は
見守るしか
ないわね

そうね…



仲間としても
友達としても
もどかしいけど

今のアリサさんに
私が出る
事は無い…

だから…

—母様!

待って
母様!

どうして…?

どうして
人を殺す兵器を
平気な顔をして
作り続けるの?

それがどんな
悲しみを生むと
解って居ながら…!

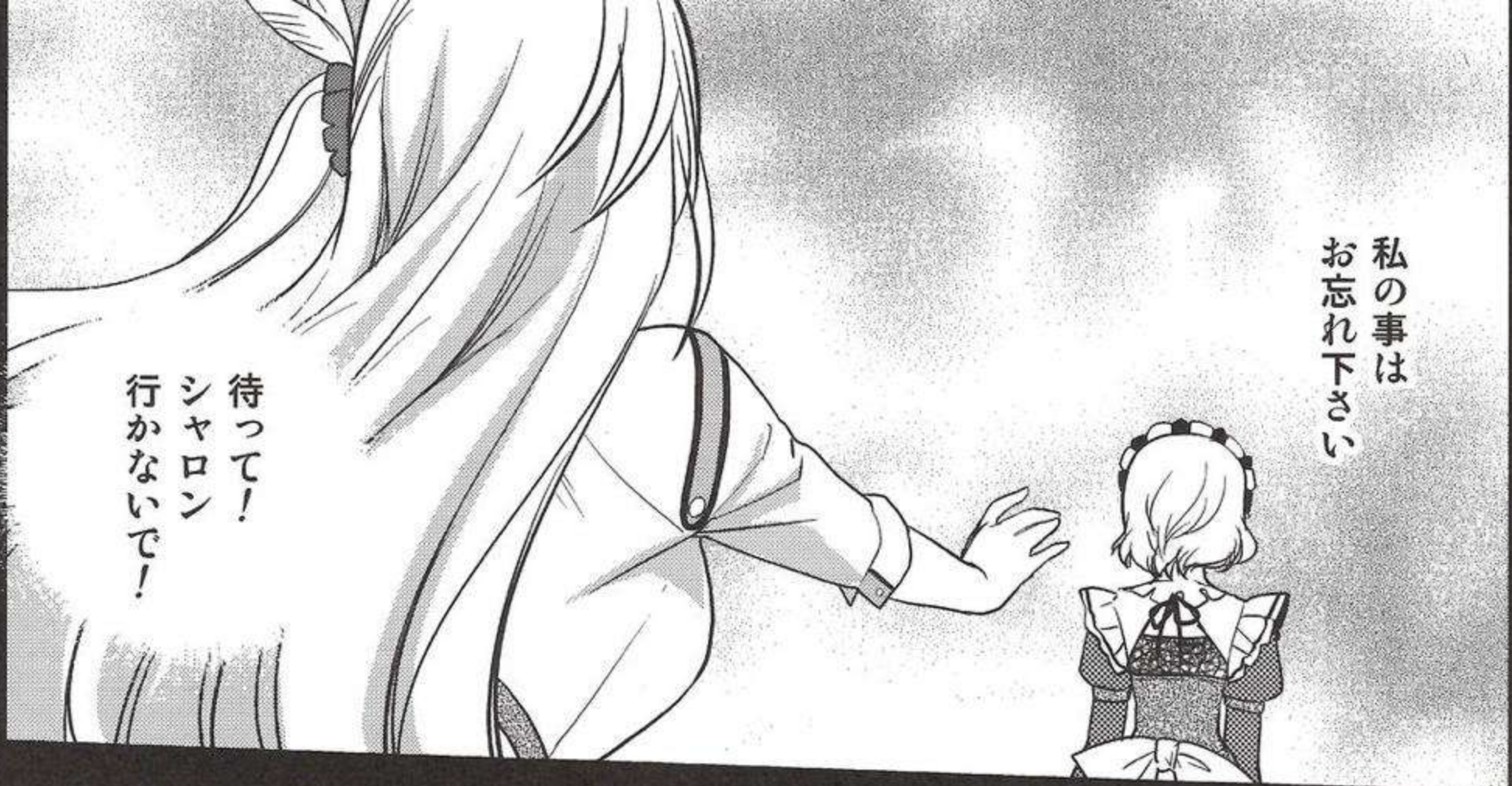
お嬢様……

シヤロン……!

あなたも……っ
何故?
どうして私達の
元を離れてまで……!

元より私は
人を殺す
兵器……

契約により
お側に存在
しただけの者……



私の事は
お忘れ下さい

待って！
シャロン
行かないで！



まるで子供の
我が儘だな

……っ！



アリサ嬢
大人しく実家に
引きこもるといい

その程度の
素材では
この舞台に
立つ資格もない



あなたは……っ

イリーナの娘と
いえど
この程度か



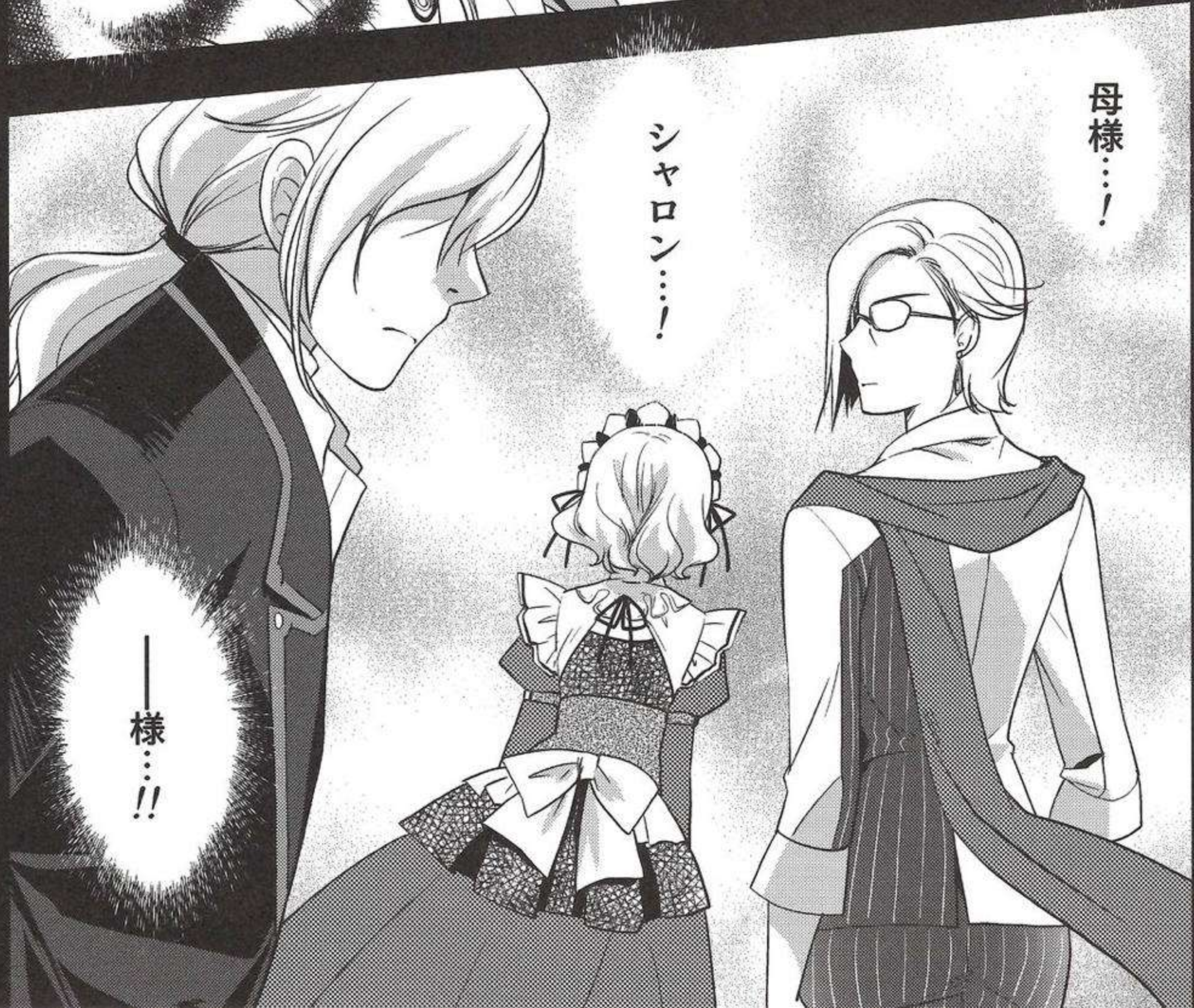
故に目障りだ
さつさと
消えるといい

きや……っ！



や……！
いや…嫌よ

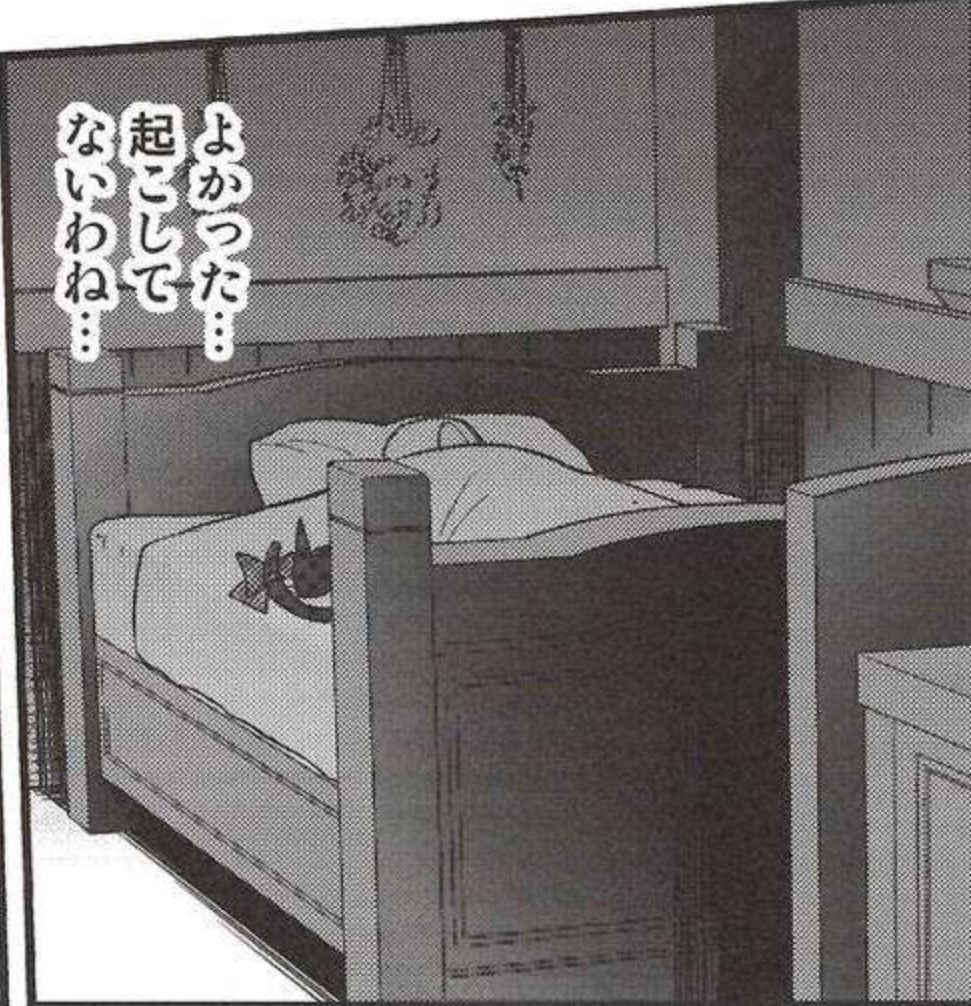
こんなのは嫌！



母様……！

シヤロン……！

—様……！！





夢に見る程
落ち込んでる
場合じゃない……

立ち止まってる
場合じゃない……



——ふう

何やってるん
だろう私……



……その為に
ラインに
あんな事を
言ったのに……!



え……？

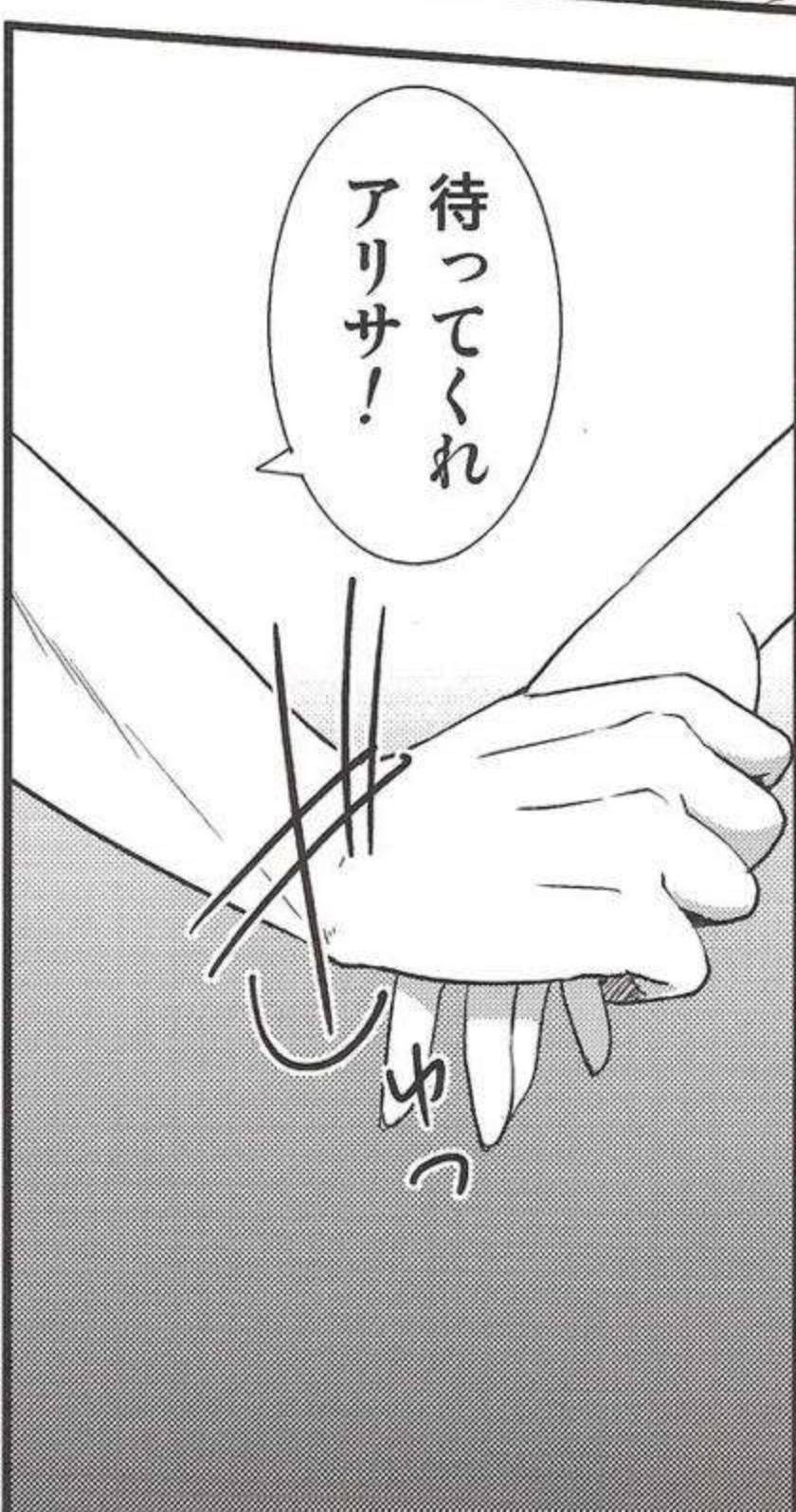


——え……
アリサ？



ご...ごめん
こんな時間に
入浴してるとは思わなくて...

リ...リイン!!



待ってくれ
アリサ!

ゆっ



私はもう失礼
するから—

いえ...いいのよ
元よりここは
みんなが使う
混浴だもの

だからリイン
ゆっくりして
いって

110
ミヤ



リイン……？

その……
もう少し
ここに居て
くれないか？



アリサは……
眠れなかった
のか？

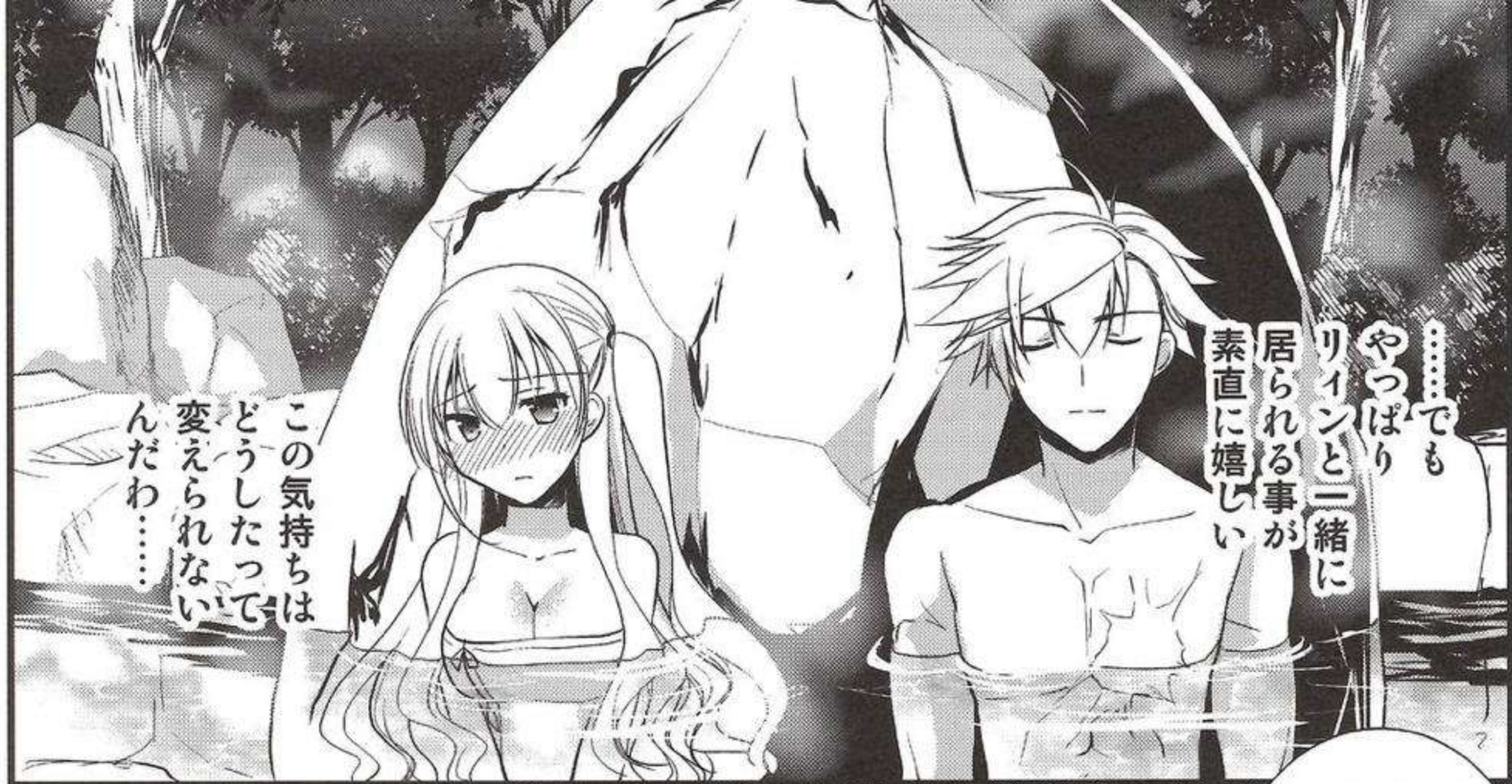
……夢見が悪くて
目が覚めて
しまったのよ

ああもう……
何やってるの
私……っ

いくらリイン
だからって
絆されて
どーするのよ！

そうか……
同じだな

え……
あなたも？



……でも
やっぱり
ラインと一緒に
居られる事が
素直に嬉しい

この気持ちは
どうしたって
変えられない
んだわ……



でもこの花
夜の方が薫る
のかしら？

なんだか今は
凄く香りが
強い気が……

あ……れ？



それにしても
この里は
良い香りが
しているよな

そ……そうね
確か里に
咲いている
ラベンダーよね？

ああ
エリンの花
だな



え……っ
アリサ
どうした？

ご……
ごめんなさい
のぼせたの
かしら……？



アリサ



妙に体が
火照って熱いし
頭もぼーっとする

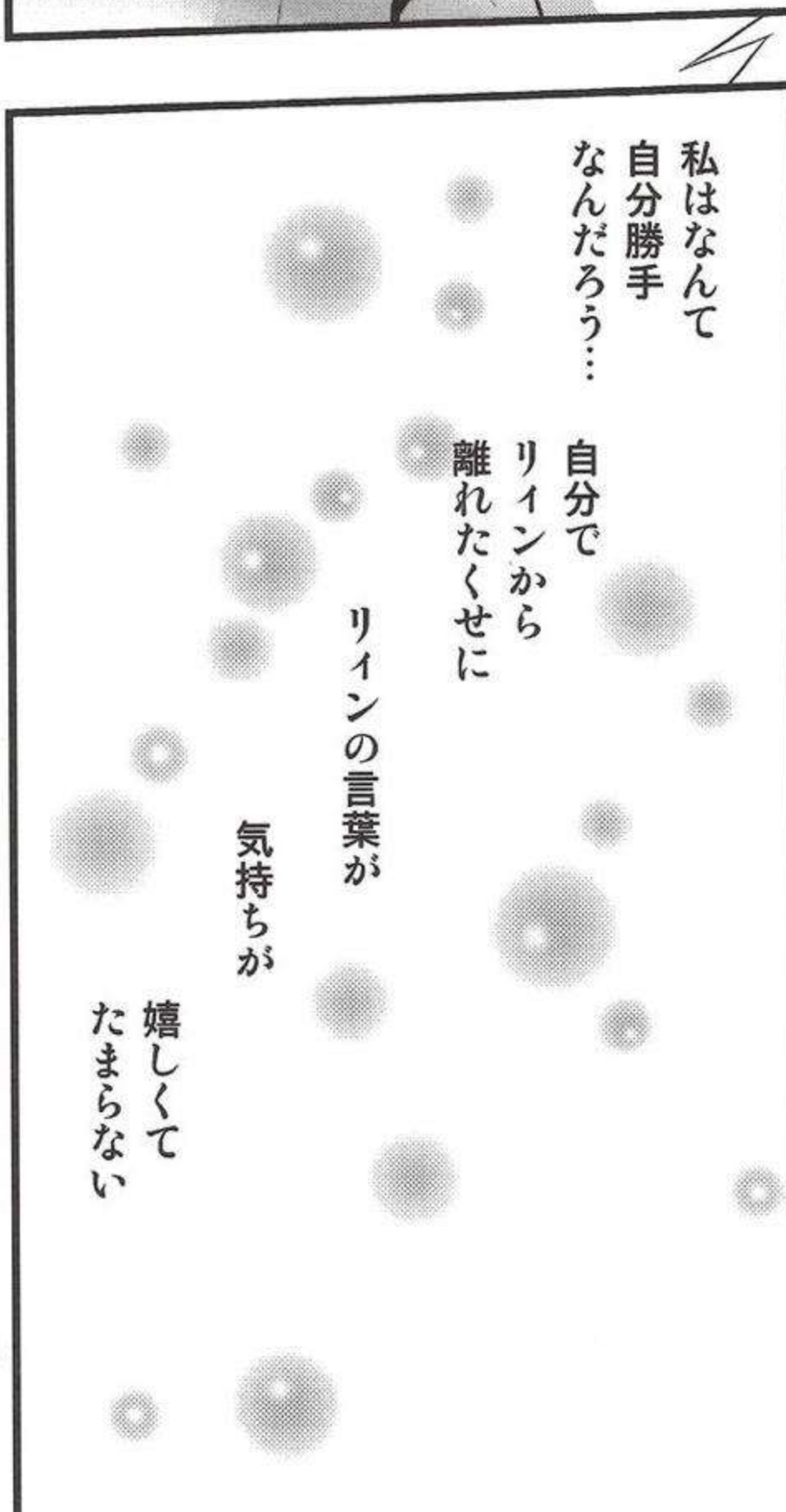
やっばり
のぼせたのね



ライン...?



.....んっ!



ごめん
その…
なんだか
自制が
利かなくて

そ…その
リイン…っ!?

すま…すま…

アリサの決意は
理解してるし
尊重したい

でも
君を想う気持ちは
誤魔化せない
っていうか…

私はなんて
自分勝手
なんだろう…

自分で
リインから
離れたくせに

リインの言葉が
気持ちが

嬉しくて
たまらない





ふあっ

や…んっ
らめっ

そこギョって
しちや…やあっ



ひあっ!!



確かにここじゃ
誰かに聞かれる
かもしれないな



はっ、はっ、はっ…

はっ

はっ

はっ

はっ

だから声
押さえて

こんな所
聞かれたら…

ライン…っ

え…っ

セッ



…あつ

あ…っ！

ああ…っ！！



…あつ
あ…あつ

や…っ
うそ…？

は…っ



は
まだ挿入った
だけなのに…

あ…あつ

…んっ

わ…あつ
きもち…いい



ちが…っ
すごいの…
リンの方

は、

はぁ

だって
すんぐん…っ

おんぐん
おんぐん…っ

はぁ

はぁ



—っ

はぁ
はぁ

アリサ…っ
締め付けて
凄いなだけど…



すぐダメに
なっちゃう…っ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



というわけで
ポジション
チェンジ
しようか

えっ？

な…
なに!?



アリサが
気持ちいいのは
嬉しいけど

正直俺も
ちよつとマズイ
っていうか…

こっちはもうおきて
辛いってさなぬ



ひや…っ

や…やだ

ヒヤッ
ヒヤッ

これ…
なんか
恥ずかしい







心の内を
露わにしつつ
淫靡な高揚感を
煽る香……

流石エリンの花で
作った特別製の香……
媚薬効果は
絶大じゃのー

気付かせずに
素直にさせるには
もってこいじゃのー

ふふふ



——やれやれ
若いモンは
お盛んじゃのー



「絶大じゃのー」
……じゃないわよ
おばあちゃん



エ……エマ？
何故ココに

それは
こっちの
セリフよ

おばあちゃんに
相談したのは
二人きりで会話
する場へ導く事で

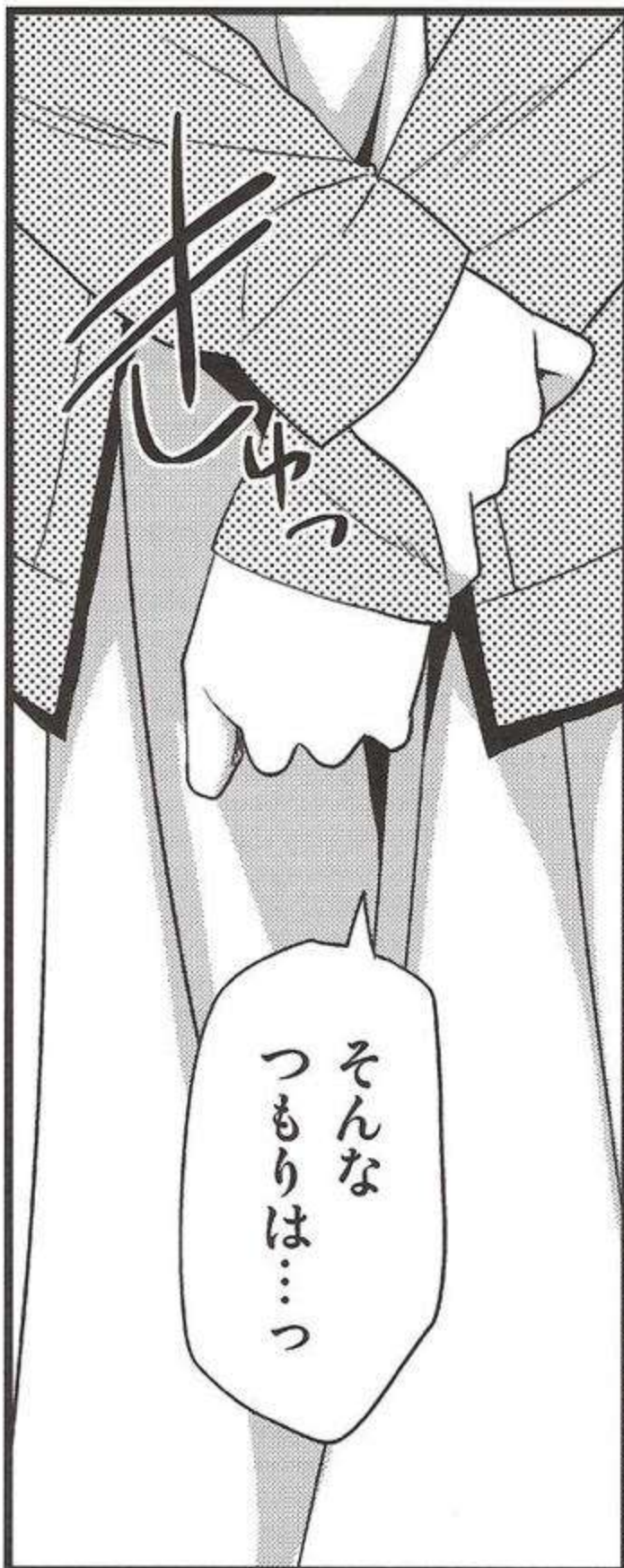
「エリンの花の香」
を使ってとは
言っていないわ！



べ…別に
問題ないじゃろ!
元々あの二人
惹かれあつとる
わけじゃし!

手っ取り早く
仲を取り持った
だけじゃ!

そ…そうだけど
今のあの二人は
そんな関係じゃ…



そんな
つもりは…っ



…やれやれ
我が孫は
相変わらず
じゃの

相変わら
ずって…
何の事?



いつまで
「委員長」で
いるつもりじゃ?



確かに今あの二人は
ただの友達の間柄：
であればお主には
チャンスじやろう？

なのに
なぜお膳立て
しておる？

……



——確かに：
私にとつても
リインさんは
誰よりも特別で

でも……
彼の想いと
絆はいつも
ただ一人に
向いていた



そして
アリサさんも
大切な仲間
大切な友人で

そんな彼女の
視線の先には
いつも彼が居た



そんな
二人の絆に
私はとても
敵わないと
理解していた……

そんな
大切な
人達だから……

私は応援
したいって
思ってるの……

まったく……
貧乏くじを
態々引くとは
酔狂じゃのお

ワシは
可愛い孫の
そんな顔を
見とうないん
だがのう……

だがの……エマ
お主自身が決めた
形がこれならば
折り合いは付けよ

今は悩み
立ち止まる
暇など無いの
じゃからの……

そうね……

二人の幸せを
望んだのは私

想いを
諦めたのも私

はい
おばあちゃん……

本当に……
まだまだ
半人前ね……



—さて
そろそろ小僧の
様子も見て
—こて!



どうして
結界なんて!

だって音が
漏れたり
誰かが来たら
やばいじゃろ!

そっか、うん、うん、
できるなら
換気もしてよ!!

おばあちゃん!
あの香は吸い
過ぎたら
副作用が...!



なんで結界内が
曇ってるんじや!?

大変
おばあちゃん!
あれ香が充満
してるんだわ!



おお...
.....やつち
まったのお...

「やつちまった」
じゃないでしょう?
おばあちゃん!

そうじゃった!
二人は!?

—あの…
ローゼリアさん？

何故俺と
アリサが
温泉の清掃を？

湯が汚れた
連帯責任じゃ！

二人には
手伝って
もらう権利が
あるのじゃ！

細かい事は
気にするな！！

早くせんと
出立でござんぞ！！

け…権利で…

は…はあ

連帯責任…って
何だしたっけ？

香の過剰摂取の
副作用で
昨夜の記憶を
丸々無くすとか…

まるで
意味なしだよ
おばあちゃん…

はあ…

ふう…やっとあとがき到達です。
今回はいつも増して描くのに時間がかかったというか…。
でもリンの髪ベタが無い分微妙に楽だったかな。

…というわけで、閃4は一月かけて何とかクリア。
色々思う所はあれど、概ね満足して楽しむ事が出来ました。
閃としては綺麗に完結して、ホント良かった。
軌跡シリーズとしては続くのは解ってたので、
それはそれで楽しみがまた出来た気分です。

さて、エマ好きな方にはちょっとばかり申し訳無い話作りになってしまい、
エマファンの方にはゴメンナサイです…。
この話を思いついたのはリンハーレムが切っ掛けでした。
旧VII女子はともかく、メイン女子全員がリンにハートの絆有りとか…、
個人的にリアリー択の私としては、ちょっとキツイ物がありました。
なので特別な絆はアリサのみになるよう調節したおかげか、
今回は男子の絆がとても捗って、それはそれで楽しかった。
(エリオットとガイウスは私的に癒してしたね)

とはいえ、実はエマはアリサの次に好きなキャラな事もあり、
そんなリアリで進めてる状況でエマの心境を描いてみたい、
…と思ったのが切っ掛けです。
結局、リンとアリサの二人の関係が一進一退にもなってないのは、
アリサがリンから離れてた期間の状況を踏まえたオチにしたかったので。
(あまり原作から離れた話作りをしたくないもので…)
そんな夢に惑わされたお話でしたが、楽しんで頂けたのなら嬉しいです。

では、最後までお付き合い頂き有り難うございました。
次回作については何とも言えませんが、
また作品を手にとって頂けたら嬉しく思います。

By:森崎くるみ

エリンの花の夢

発行 ■ C・A・T - CreativeArtTeam -
発行日 ■ 2018/12/31(コミックマーケット95)
印刷 ■ 大陽出版さま
著者 ■ 森崎くるみ
連絡先 ■ <http://www1.odn.jp/cat>
E-mail ■ cathpmail@gmail.com
Twitter ■ @kurumi_cat

(メールアドレスは予告無く変更になる場合があります。
到着しない場合、HP上の物をご利用下さるか、Twitterからご連絡下さい)
※無断転載、複製、ネットへの無断アップロードの一切を禁じます。
オークションへの出品はご遠慮下さい。
この作品は二次創作であり、原作版元とは一切関係ありません。
18歳未満の方の購読はお断り致します。



エリンの花の夢

THE LEGEND OF HEROES SEN NO KISEKI IV ◆ C:A-T/KurumiMorisaki ◆ 2018.Winter

